

# 一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を  
肩に担いで売り歩く～



越谷市議員 白川 ひでつぐ  
シリーズ/NO 128号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

## 駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来20年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝、夜の駅立ちは、通算4000日を超え6期目に入りました。私の日々のツイッターのつぶやきやフェースブックから、転載したものを含め、駅前様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は251名を超えました。これでスマートフォンでのライブ配信をすることが出来ます。登録のご協力に感謝し、更にご登録を引き続きお願いします。

チャンネル登録



## 配布のチラシは、5種類にもなったが

今朝の駅立ちは、大袋駅東口で午前6時前から市政レポートの配布を開始した。

この日から配布を開始した、市民団体埼玉政経セミナーが主催する「令和5年度連続講座「気付こう！あなたの隣の社会課題 シリーズ2 あなたの隣のLGBTQ」の案内チラシを加え5種類となった。

通常2種類から4種類で配布して来たが、今朝は更に5種類になったため、市民の皆さんに読んで頂けるのか少し心配ではあったが、イベント案内は出来る限り早くお知らせをしたかったためだ。

午前8時30分過ぎまで、チーム白川のメンバーの吉田理子さんとも通常通り一緒に行動して頂いたが、吉田さんも毎日経営者としての仕事もあるのだが。 (10月2日・月曜日)

## 歩行器を使用する高齢女性からカンパが

今朝の駅立ちは、蒲生駅東口で午前6時前から市政レポートの配布を開始した。

午前6時30分頃、時々通り過ぎて行かれる80歳前後の女性高齢者の方が今朝もゆっくりと歩いておられた。

何時もの様に歩行補助具に両手を置いて私の前を通り過ぎて、カンパ箱が置いてある机の前で1000円のカンパをして頂いた。

直ぐに傍に寄って行き丁寧に敬礼を申し上げたなら、頑張ってくださいと小さな声で励まされたので暫らく見送った。

恐らく朝の散歩の途中なのだろうが、年金くらしの中で、貴重なお金の中からのカンパなのだろうと、想像したらなお頭が深く下がった。

午前8時過ぎには、馴染みの中年女性から1000円のカンパ、更に午前8時30分前には、暫らく会っていませんでしたね、お元気でしたか、と声が旧知の高齢女性から掛かった。

はい、お陰様で何時もの様に駅頭でも議会でも平常心で臨んでいます、と返事をした。

この女性からも、小さな袋に綺麗に折りたたんだ1000円札が3枚カンパして頂いた。

そうか、3か月余りお会いしていなかったのこの額なのかと想像したのだが。

今朝は、カンパは合計4000円にもなったが今後とも大切に使用して頂く。

(10月13日・金曜日)

## 朝刊チェック：維新の「終わりの始まり」とは何か？

ここ半年あまりYouTubeの「菅野保」氏の毎朝配信している朝刊チェックを見ている。

(従って、私もほぼ毎日見ることになったのだが、アーカイブなので時間は自由に選べる)

このコーナーは、朝刊5紙をまず15分で解説した後2時間近く社会、政治問題に関して話続ける動画だ。

今日は、維新の今後についてコメントしていた。本年4月の統一地方選挙で、地方議員700名を超える当選者を出して、次期衆議院選挙では野党第一党になる事を公言し、更に第二自民党をめざすとも。

しかし、この“躍進”がなぜ起きているのか、  
(裏へ)

市民の心理、特に都市部の市民意識の変化を分析することが必要だ。これは日本に限らずランプ現象やヨーロッパの極右政党の伸長とも関連している。

ただ、この間支持率が立憲民主党を超えていたが、暫時支持率が下がり続けており個別の世論調査の中では立憲民主党に追い抜かれている。これまで全国規模で国会議員に限らず、地方議員や候補者の不祥事（政務活動費の不正使用に始まり、殺人未遂まで引き起こしているにも拘わらず、急伸していた。）に歯止めがない。

しかし、それでも支持が以前高止まりしているのは、「色々と不祥事が頻発しているが、維新は税金の無駄つかいをしない“身を切る改革”のスローガンに象徴される”との姿勢に共感が広がっていた。

ところが維新が主導、喧伝している大阪万博（今では批判を避けるため日本万博と表現しているが）が当初の最大上限事業費1270億とされていたが、今では2500億円とほぼ倍増している。しかも開催地の基盤整備の危険性が指摘され、海外のパビリオン建設も大きく目標を下回っている現状から更に開催そのものが危ぶまれている。

つまり、税金の無駄使いをしない維新が実は税金を湯水のように使い続ける体質ではないか、と市民が気付き始めた兆候があり、これが「維新の“終わりの始まり」と。維新ブランドの崩壊が始まったと強調していた。

この意見に同感するものの、リベラル野党が、分断と不信が広がる社会問題をどのように捉え、半数もの投票しない市民に対してメッセージをどう伝えて行くのか甚だ心もとない状況をどう変えて行くのか、これは私自身にも迫られている。（10月15日・日曜日）

## 入れ替わり立ち代わりの朝の駅立ち

今朝の駅立ちは、せんげん台駅西口で午前5時20分から市政レポートの配布をスタートした。今朝もチーム白川の会員である吉田理子さんも行動を共にしている。

そのためか、各駅では吉田さんに親しく話かけていく市民が増えている。

2人で市政レポートを配り続けていた午前7時前に春日部市の共産党市議が春日部側の歩道で街宣活動を始めた。マイクを使用しているので多少音がかぶってしまうがそれほど気にはならない。（最も市民の皆さんがどう思わ

れているのかは、不明だが）更に午前7時20分頃には、越谷市公明党市議団（6人）が数本ののぼりを持参して駅前に来られた。その中の旧知の市議から、今から街宣をやりたいんですが、いいでしょうか、午前8時まででマイクは使用しませんが、と話し掛けられた。勿論どうぞご自由に活動して下さい、と応じた。

更にそれから10分後に学習塾の宣伝のため講師だろうか、スーツ姿の2人の若い方が階段から降りてバス停に向かう独協中学・高校生に向けて塾案内チラシの配布が始まった。

そのため、駅前はただでさえ独協の生徒で混雑しているので、朝から賑やかな雰囲気となった。（10月16日・月曜日）

## 若い母親はだらしのない、もっと子どもを中心に？

今朝の駅立ちは、せんげん台駅東口だったので通常通り午前5時前には自宅を出て、駅到着。車から街宣用具の搬出、設置そして駅前清掃を終えて午前5時30分頃から市政レポートの配布を開始。

午前7時頃、自転車をおして高齢女性が近づいて来られた。最近子どもを持つ世帯に、税金を使った支援が実施されているが、そのお金が無駄になっている。夜遅くまで母親が小さな子どもづれで居酒屋で飲んでいる。周りの友人もみんなおかしいと言っている、との話だった。

そうですか、子育て世帯の特にシングルマザーの貧困率は半分にまでなっているのだから、支援は必要ですよ、と返答した

いいや、支援した税金が母親の酒代になっているのだから、私ら年金生活者からみれば不公平です、と返事をされた。

そうですね、年金生活者の皆さんも、子育て世帯も現状は貧困が広がり、さらにお金を持つ人と持たない人との格差がますます激しくなっていますよ、と応答。

すると、私たちの若い頃は、貧しくともこんな親子の関係はなかったのだから、今の若い人は甘えているんですよ、と話された。

昔は、貧しくても皆で助け合う地域があり、家族も沢山いて子育てを協力して出来ていたんですが、今はそれが絶望的に困難な状況なので税金はもとより、地域全体で支えて行くことが大切ですね、と応答したが、どこまで通じたのだろうか。（10月17日・火曜日）